



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

教育目標

自ら進んで学び

自然や人を愛し

たくましく生きる生徒



令和7年7月1日(令和7年度 第4号) 発行責任者 大島町立第一中学校校長

『学ぶ』って楽しい! 『教える』って楽しい!! 『関わる』って楽しい!!!

生徒・教職員・保護者や地域の方々が安心・安全を実感できる学校

「スクロールより、ページをめくる夏にしよう」

校長 重末 祐介

今年の NHK 大河ドラマは、江戸の庶民の様子が描かれた「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」が放送されています。ドラマを視聴していると、江戸の町民たちが娯楽としての読書に親しむ場面が何度も出てきます。老若男女問わず新作の本を求め、その感想を伝え合う町民の姿が印象的です。

ところで、令和の時代において、読書に親しむ人たちは一体どのくらいいるのでしょうか。私が中学・高等学校に通っていた頃の平成一桁時代は電車通学をしていましたが、自分自身も含めて多くの方が車内で読書をしてたと記憶しています。しかし、現在は車内ではスマートフォンを手にしている人がほとんどで、読書をしている人を見かけることがほとんどないのが実感です。(「電子書籍を読んでいる人もいます」との意見もありますが、何割の方がスマートフォンで電子書籍を読んでいるのかについては把握していません。実際のところ、そんなに多くはないと思っています。)

令和7年3月に東京教育委員会が発表した「令和6年度子供読書活動推進に関する調査の集計結果」によると、不読率(※1か月の間に1冊も「本」を読まなかった児童・生徒の割合)は上昇傾向にあり、中学校第2学年のデータは11.6%と示されていました。ちなみに高等学校第2学年になると36.3%まで数値が上がります。スマートフォンを所持することの影響は少なからずあると思いますが、中学生にとって読書は必要のない、スマートフォンに淘汰されてしまうものなのでしょうか。

読書は人類が獲得した文化であり、読書によって私たちは楽しく知識を身に付けることができ、ものを考えることができるようになります。また、本にはあらゆる分野が用意され、簡単に享受でき、図書館等を上手に活用すればそれほど費用も掛からないことが特色です。読書習慣を身に付けることは、国語力を向上させるばかりでなく、一生の財産として生きる力ともなります。保護者の方々におかれましても、人生観を築くような本との出会いが何度もあったのではないのでしょうか。生徒たちにも、そのような出会いをさせたいと私たちは願い、学校教育の中でも様々な読書の機会を設定して読書指導を行ってきました。

さて、7月19日から学校は夏季休業日に入ります。生徒たちに配布した「夏休みのしおり」には、生徒たちが読書に親しむことを期待して「図書館を積極的に活用し、意識的に読書を行う時間を確保しましょう。」と記載しています。部活動や家族との予定も様々あると思いますが、暇をもてあます時もきっとあることでしょう。その時が絶好の読書チャンスです。お子様がスマートフォンをガラガラといじっている姿を見かけたら、ぜひとも図書館へ赴くように積極的に声をかけてあげてください。生徒たちが一生のうちに何度も読み返すような、そのような良き本との出会いがこの夏にあることを期待しています。

行事予定

7月

1~3日 職場体験(第2学年)

5日 道徳地区公開講座

一中サミット(第3学年)

学校公開 保護者会

8日 くろしお学級校外学習

9日 避難訓練(一斉下校)

10日 激励会

17日 大掃除

18日 終業式

SC来校 4日 11日

夏季休業日 7月21日~8月31日

夏季水泳教室(7/22~29)

夏季学習教室(7/22~25、8/25~29)

学校閉庁日(8/12~15)

※学校閉庁期間中の緊急連絡は、大島町教育委員会(2-1453)までお願いします。

7/28 校内水泳記録会

7/30 大島町水泳大会

6月の部活動の様子

サッカー部

6月7日(土)陸上競技場にて大島町中学校サッカー選手権大会が行われました。今年は一中对二・三中合同チームの試合となりました。前半は2-0で折り返しましたが、後半は0-1と白熱した試合で、合計2-1で勝利することができました。これからは、7月の島嶼大会優勝と都大会出場に向けて、大島町サッカー連合チームとして練習をしていきます。これからも、御声援と御協力をお願いいたします。



ソフトテニス部

《大会結果》

- 個人戦(女子) 準優勝
- 個人戦(男子) 準優勝
- 団体戦(女子) 準優勝 一・三中 (対二中: 1-2)

★ソフトテニス部(部長)

私たちソフトテニス部は6月7日(土)に行われた中体連大島支部ソフトテニス選手権大会に出場しました。結果は、男子個人戦は、男子のペアが初戦敗退と準優勝となり、女子個人戦は、初戦敗退と準優勝という成績を収めました。団体戦では、惜しくも第二中学校に1対2で敗れてしまいましたが、チーム全体が目標に向かって心を一つにして、全力で試合に臨むことができました。しかし、目指していた「W 優勝」という目標は達成できなかったため、次の目標である「都大会一勝」に向けて、これからもペアやチーム全体で互いに高め合いながら、苦手なプレーの克服に取り組んでいきたいと思っています。



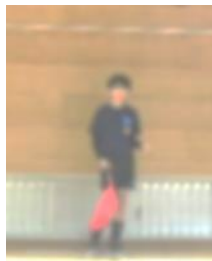
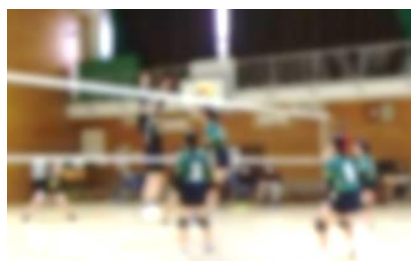
野球部

6月7日(土)に夏季選手権大会・研修大会が行われました。都大会に向けて、3年生にとっては島内で最後の大会となり、選手一人ひとりが全力でプレーする姿が随所で見られた大会となりました。たくさんの御声援、ありがとうございました。



バレー部

6月7日(土)に夏季研修大会を行い、都立大島海洋国際高等学校バレー部と対戦しました。1セット目はチームの連携が合わず落としてしまいましたが、気持ちを切り替えて2セット目以降に挑み、結果2-1で勝つことができました。1年生が活躍する場面もあり、島嶼大会・都大会に繋がる試合となりました。御声援ありがとうございました。



吹奏楽部ソロコンサート

6月17日(日)音楽室にてソロコンサートを開催しました。4月の曲決めから、日々の練習に取り組んできました。練習を進める中で、2年生が1年生にアドバイスをする姿やお互いに演奏について相談する姿など、1人1人が責任感をもって取り組むことができました。終演後には、「最初は緊張したけど、吹いているうちに楽しくなってきた」「練習の成果を出せた!」と、達成感を感じていました。

お忙しい中、足を運んでくださった方々、誠にありがとうございました。この経験を糧に、夏のコンクールに向けて一中吹部らしい音楽をつくっていきたいと思います。



第1学年 校外学習（南部波浮方面）

6月2日（火）、南部波浮方面へ校外学習に出かけました。当日はあいにくの雨模様でしたが、生徒たちは元気に学習活動に取り組みました。4つの班が別々に体験活動を行い、その後、事前に立てた行動計画に沿って見学を進めました。これまで訪れたことのある施設もありましたが、事前学習の記録を参照しながら活動したりすることで、新たな発見が数多くありました。雨の中での移動や見学は大変だったものの、生徒たちは真剣に取り組み、充実した学びの時間となりました。今回の校外学習では、教員が出題する「教員ミッション」にも挑戦しました。各班に与えられた課題を、現地での観察から解決していく内容で、生徒たちは協力し合いながら積極的に取り組んでいました。普段とは異なる視点から地域を見ることで、より深く大島について考えるきっかけになったようです。また、この校外学習は中学校に入学してから初めての班別行動でもありましたが、班長がしっかりと班員をまとめ、一人ひとりが自分の役割を果たすことで、全体としてまとまりのある活動ができました。20名の生徒はそれぞれ一つのテーマを設定し事前学習を行い、その成果を現地での体験を通じて確かめることができました。地元でありながら、まだ知らないことがたくさんあるということに気づき、事前学習を通じて大島について改めて理解を深める良い機会となりました。



第2学年 防災教育（事前学習・メモリアル公園・砂防ダム・事後発表）



第3学年 上級学校訪問

都立大島高等学校・都立海洋国際高等学校

5月29日(木)・6月9日(月)に、3年生を対象に都立高校の訪問を実施しました。1回目は大島高等学校、2回目は大島海洋国際高等学校を訪問し、各学校の特色ある授業を見学しました。

○大島高等学校

まず農林科では、ビニールハウス内で行われていたトマトの収穫実習を見学し、その後、ラジコン式の草刈り機の操作を体験しました。生徒たちは、農業の担い手不足や日本の農業が抱える課題についての説明に、真剣な眼差しで耳を傾けていました。家政科では、ニョッキを手作りして調理する授業を見学しました。普段の中学校の家庭科では経験できない内容に、生徒たちは興味深く見入っていました。普通科では、数学と公民の授業を見学しました。中学校の社会科で扱う公民分野が、高校ではより専門的に学ばれていることを実感する機会となりました。

○海洋国際高等学校

小雨が降るなか、トウシキ遊泳場で行われていた「生物採取」の実習を見学しました。生徒たちは、実際の海岸で網や容器を使って生き物を探す高校生の姿に驚きながらも、自然を相手に学ぶ姿勢に大きな関心を抱いていました。教室を離れたフィールドでの学びは、中学校の授業とは異なる“体験を通じた学び”の大切さを実感させてくれました。

その後の校舎見学では、船の操縦をシミュレーションできる本格的な訓練設備や、航海・海洋関連の資料が並ぶ教室などを見学しました。海や船に関心をもつ生徒にとっては、自分の将来をより具体的にイメージできる時間となったようです。

これらの経験をとおして、生徒たちは高校での学びの雰囲気や専門的な授業内容に直接触れることができ、自らの進路について考えるきっかけを得ることができました。実際に足を運び、目で見て感じたことが、今後の進路選択において貴重な判断材料となることを願っています。



～生徒会活動報告～

★海浜清掃ボランティア

6月29日(日)、生徒会本部主催による海浜清掃ボランティア活動を実施しました。生徒会本部では、毎年ボランティア活動の一環として弘法浜の清掃を行っており、今年度も天候に恵まれ、無事開催することができました。当日は、約40名の生徒が参加し、生徒会本部による説明の後、グループに分かれて清掃活動を行いました。海岸にはペットボトルや発泡スチロール、ビン、缶など、さまざまな種類のごみが落ちていました。中には観光客が捨てたと思われるごみのほか、海外から流れ着いたと思われるペットボトルも多く見受けられました。活動時間は30分という短いものでしたが、参加者全員が積極的にごみを拾い、最終的には70リットルのごみ袋10袋以上分を回収することができました。弘法浜は、普段から海水浴を楽しむ多くの人に親しまれている海岸です。今回の清掃活動を通じて、生徒一人ひとりが「自分たちの手で豊かな自然を守る」というボランティア精神を育むことができたと感じています。これからも、大島の美しい自然を守っていくために、私たち一人ひとりができることを考え、行動していきましょう。



第3学年のページ

『2つのジリツ(自立・自律)を基に考動する学年』『感謝・感動学年』として

2つの目標を達成すべく、最高学年として、一中の顔として全力で過ごした1学期でした。第3学年の強みは、「休まないこと」「人懐っこくて素直な性格であること」そして「何事にも全力であること」です。

1学期もこの強みを生かして全力で過ごしました。5月に実施した修学旅行では、全力で学び、楽しみ、スローガンである「同心協力～もって行くのルールとマナー、もって帰るのは最高の思ひ出～」を達成し、最高の思い出は多くできた充実した宿泊行事となりました。進路講演会においても、積極的に参加する姿勢がどの講師からも好評でした。また、委員会活動や部活動においても使命感や熱意をもって主体的に取り組んでいます。

私は「肩書きが人を成長させる」と思っています。そして、3年生も最高学年、一中の顔という肩書きを背負って学校生活を送る中でたくましさや頼もしさが成長しております。きっと2学期の運動会と一中祭では、「2つのジリツ(自立・自律)を基に考動する学年」「感謝・感動学年」としての真髄を発揮して、素晴らしい活躍を見せてくれると期待をしております。3年生は、「最後の」という言葉が付いてくる学年でもあります。今は、最後の都大会・島しょ大会に向けて、一生懸命練習に取り組んでいます。6月上旬に実施した夏季選手権大会・研修大会で、野球部主将の木中康晴君は「私たちを支えてくださったすべての方々への恩返しとなるよう、全身全霊をもって臨みます」と堂々と選手宣誓をしました。生徒の皆さんには、最後の都大会・島しょ大会、最後の運動会、一中祭、「最後の」という言葉が付くものに対して、木中康晴君が選手宣誓で宣言した言葉を全員が胸にして臨んでいってほしいです。



1, 3年合同体育でラジオ体操を教える3年生 シャッフル給食で交流を深める様子

4月初め、黒板アートとともに撮影したクラス集合写真

くろしお学級のページ

大島高校農林科交流

三原学級交流 ～白井いずみ先生・げん先生の畑にて～

ジャガイモ掘りや、ジャガイモリレーなどのレクを行いました。



1年生コミュニケーション学習

作業や体育、カードを使った会話など、一中の教員と楽しみながら学習しています。

